



令和2年度 後期学校評価 特集号

学校教育目標

自ら学び考え、行動する、「生きる力」を身に付けた子どもの育成

＜くめざす子ども像＞

- 探究する子ども ○考えぬく 子ども ○協力して活動する 子ども
○社会とのつながりを大切にする 子ども ○運動やスポーツを楽しむ 子ども

保護者の皆様にご協力をいただいているアンケート調査は、学校評価の大切な指標として、そのご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。今年度も、7月の夏休み前と1月下旬の2回にわたってご協力をいただきました。後期のアンケート結果をもとに、発展すべきところ、改善すべきところを明らかにし、来年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

児童アンケート結果より



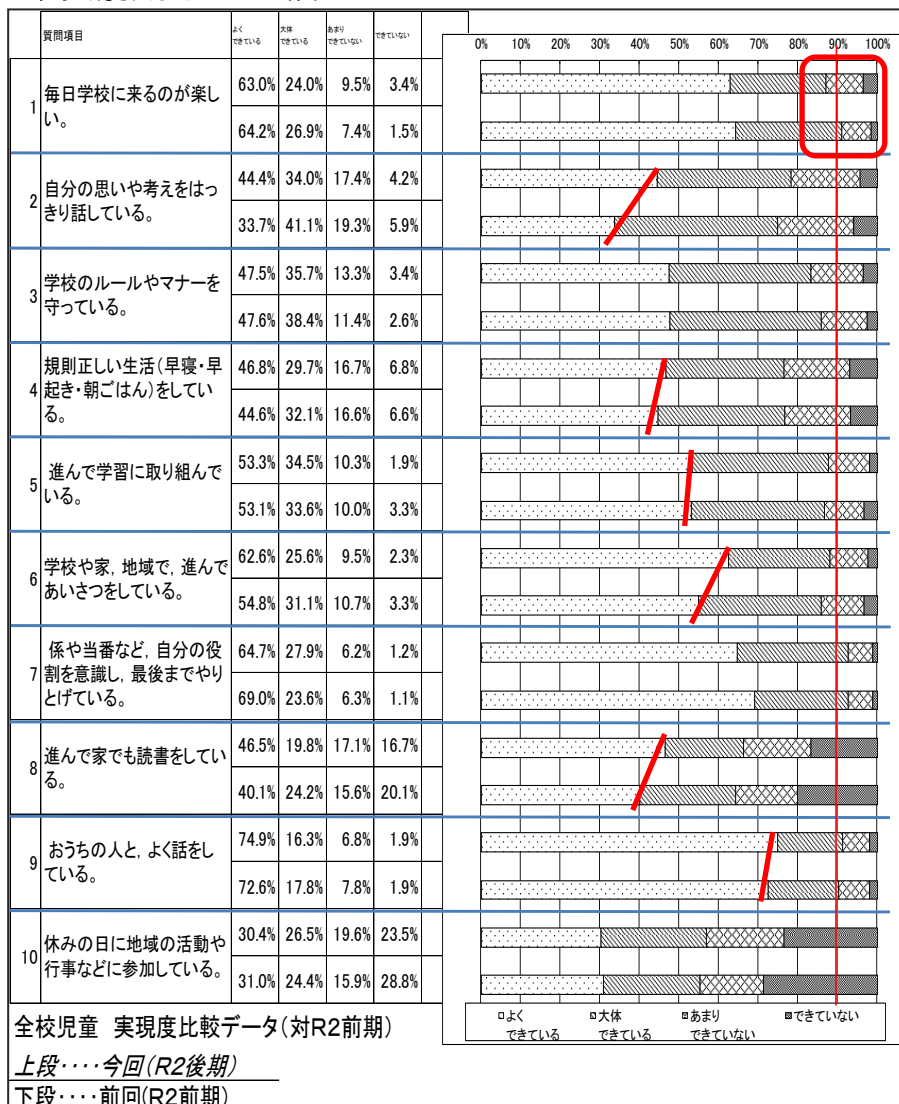
「がんばれていること」や今年度前期との比較

児童アンケートに10あるアンケート項目について、今年度前期と比較をしてどのような傾向があるのか、見ていきます。

これまで、年度の初めの調査に比べ、後期の調査結果が全体的に低くなる傾向が見られました。後期の方が自分をふり返る材料がたくさんあり、また、自分を見つめ直す見方が厳しくなる傾向は、今年度に限らずいつも見られる傾向です。

ところが、今年度は後期の方が実現度が向上している項目が、実に半数以上ありました。「**自分の思いや考えをはっきり話している**」「**規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をしている**」「**進んで学習に取り組んでいる**」「**学校や家、地域で、進んであいさつをしている**」「**進んで家でも読書をしている**」「**おうちのひと、よく話をしている**」の6項目です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症



防止対策として、年度のはじめ2か月が休校となる、これまでにない学校生活になりました。また、登校再開となっても、これまでと同じように取組を進めることができないこともたくさんありました。そんな中で、「**自分の思いや考えをはっきり話している**」は、本校が大切にしている言語能力の育成やコミュニケーション能力の育成に直結する項目であり、とてもうれしい結果です。グループや二人組での話し合い活動もままならなかった前期に比べ、後期は感染防止対策をしたうえで、可能な限り、本校が大切にしている学習形態を取り入れました。子どもたちは、機会さえあれば、自分の考えを話すことができることを如実に表していると思います。

また、「**読書**」については、読書週間の時期とアンケート時期が重なったことも影響しているかもしれません。従来から進めてきた「**おうちde読書**」の取組でもわかるように、学校として働きかけたことをご家庭に理解していただき、ご家庭で実行していただけている。学校と家庭が連携して子どもの学びを支えていくことの大切さをあらためて確認することができます。

ご家庭での様子で言うと「**おうちの人とよく話をしている。**」の項目も、前期は休校期間があり、家族とのコミュニケーションが比較的とりやすかったとは思いますが、後期も引き続き高い実現度を示していることから、放課後や週末の過ごし方でも、家族とのコミュニケーションがしっかりととれていることがわかります。そのことは、子どもたちの心の安心・安定につながり、翌日の学校生活にも大きな影響を与えます。実際、登校してすぐに、教室で迎える担任の先生におうちでの話を聞いてもらおうと話しかける子どもたちがたくさんいます。

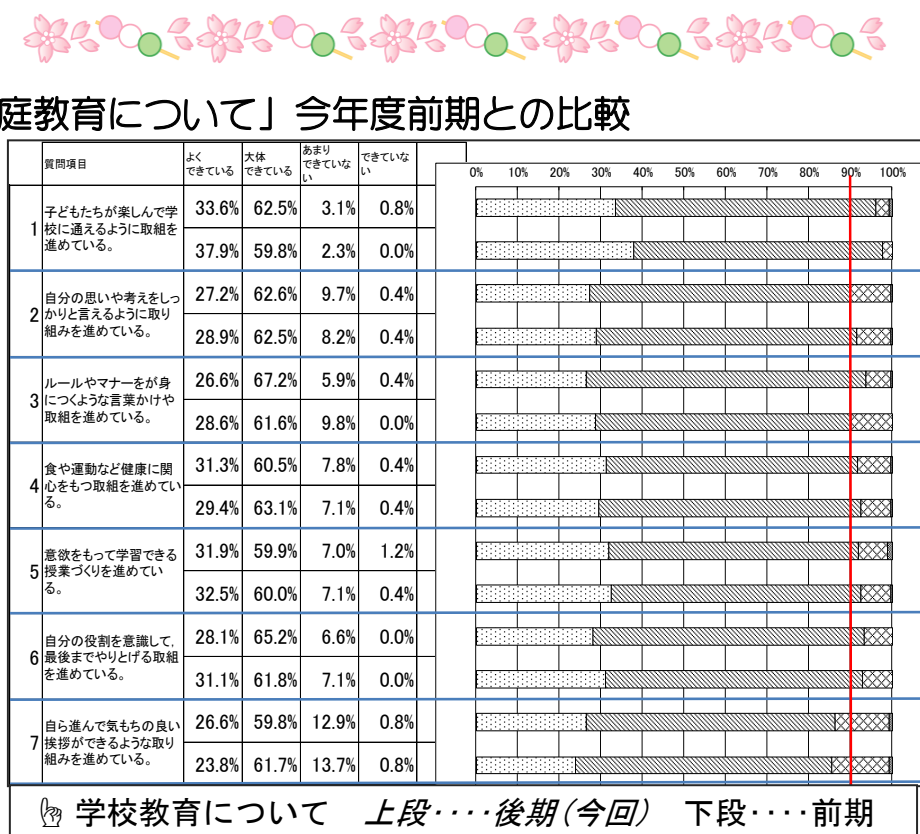
逆に、結果から心配な面も見えます。「**毎日学校に来るのが楽しい。**」では、「楽しいとは思わない」と答えた子どもたちが、8.9%から12.9%へ4ポイントも増加しています。4%と言えば、各学年で1人ずつは増えているということになります。今年度、いろいろな場面で制約を受けてきた学校生活で、楽しいと思えることが減ってしまったことが要因になっているのではないかと考えます。また、休校期間中の学習内容も含めて、今年度中に学習を終えるというスケジュールの中、子どもたちの気持ちを丁寧に見とることが十分ではなかったのではないかとこの反省があります。学年末を迎え、新しい学年への期待感を高めながら、新年度がよいスタートを切れるようにしたいと思います。

保護者アンケート結果より

「学校教育について」「家庭教育について」今年度前期との比較

保護者アンケートは、「学校教育」についてのものが7つ。「家庭教育」についてのものが7つの計14の項目があります。同じ内容のものを学校教育・家庭教育両方で尋ねている質問もあります。

「**学校教育**」については、各項目個々には増減はありますが、どの項目もおおむね実現できている（実現度が90%以上）というお答えをいただいているようです。新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度は保護者の方々に学校へお越しいただける機会も減って



しました。子どもたちの教室での活動の様子をもとにお答えいただくことが難しかったとは思いますが、ご家庭から評価していただいていることを大切に受け止め、来年度、通常の実組に戻せるようになって、継続して確実な評価がいただけるよう、丁寧に進めてまいりたいと思います。

その中で、実現度が90%に届かなかった項目に「自ら進んで気持ちの良い挨拶ができるような取組を進めている。」があります。この項目は、毎回同じ傾向にあります。子ども自身は、自分たちはしっかりと挨拶ができていると自己評価している項目です。大人が望む姿と子どもが目指す姿にずれがあるのかもしれませんが、「こんな姿がステキな挨拶の姿だよ。」「あいさつは人と人をつなぐ第一歩だよ。」と丁寧に子どもたちに理解させていきたいなと思います。コミュニケーションのきっかけとなるあいさつです。引き続き、家庭、地域、学校、どんな場所でもしっかりとあいさつできる子どもを育てていきたいなと思います。



「家庭教育について」は、各ご家庭においての実現度となり、各ご家庭のふり返りと位置付けることができます。

児童アンケートの結果同様、前期よりも各ご家庭で自身を見つめ直される目が厳しくなり、実現度も微減の傾向があります。また、全体に実現度90%を超えるものも少なくなります。

そんな中、「子どもの健康や体力づくりに気を配っている。」の項目については、今年度コロナウイルス感染拡大の影響もあり、子

8	子どもの思いや考えをしっかりと聞くようにしている。	18.7%	63.7%	17.6%	0.0%		
		16.3%	67.8%	15.9%	0.0%		
9	ルールやマナーを身につけることができるように努力している。	15.6%	69.6%	14.8%	0.0%		
		15.4%	70.3%	14.3%	0.0%		
10	子どもの健康や体力づくりに気を配っている。	19.5%	62.5%	16.9%	1.1%		
		17.1%	64.0%	19.0%	0.0%		
11	家庭で学習や読書の習慣づけをしている。	13.8%	46.4%	33.3%	6.5%		
		15.5%	48.4%	32.6%	3.5%		
12	PTA活動や学校行事に参加している。	13.5%	54.2%	23.5%	8.8%		
		13.6%	55.8%	23.3%	7.4%		
13	家庭での役割(お手伝いなど)を与え、最後までやりとげられるようにしている。	15.2%	48.7%	32.7%	3.4%		
		14.0%	52.9%	31.1%	1.9%		
14	自ら進んで気持ちの良い挨拶ができるように働きかけている。	27.0%	58.1%	13.7%	1.2%		
		23.2%	58.5%	17.4%	0.8%		

どもたちの健康管理や感染防止に気を使われていることがうかがえます。また、「自ら進んで気持ちの良い挨拶ができるよう働きかけている。」については、前述したように、大人の目線から十分ではないと感じられていることで、各家庭でも挨拶ができる子をめざして、意識して声かけをしていただいていることがわかります。くり返しになりますが、家庭と学校が共通の認識で子どもの育ちを見守ることが大切だと実感します。

児童回答・学校教育に対する見とり・家庭教育のふり返りの傾向を比較

最後に、児童・学校教育・家庭教育の3つの視点での結果を比較してみました。実現度の高い項目（「よくできている」＋「だいたいできている」の合計ポイント）から順に並べ替えてみました。

「子どもたちが楽しんで学校に通えるように取組を進めている。」という項目の実現度が高いと評価をいただき、わたしたち教職員の励みとなるのですが、子どもたちの回答の中ではそれほど高くなく、ずれがあることをしっかりと受け止め、一人一人を大切に教育の実現を目指していきたいなと思います。今年度は、コロナウイルス感染対策をしながらの教育活動ではありましたが、来年度以降も対策は必須となります。引き続きいろいろな制約も考えられますが、一方で GIGA スクール構想に基づくタブレットの活用も本格化します。子どもたちの学

びの手段や方法の幅が広がる可能性があります。来年度、いろいろな工夫をしながら、子どもたちが「明日も行きたい」と思える「楽しさひろがる」学校を目指していきたいと思っています。

また、「**おうちの人とよく話をしている。**」

「**子どもの思いや考えをしっかりと聞くようにしている。**」という両項目が上位に並んでいることは、各ご家庭での働きかけが、子どもたちにしっかりと届いていることを表わしていると思います。今回、実現度が上昇した「**家庭での読書**」と合わせて、家庭での子どもたちの心の安定や家庭学習の様子が子どもたちの学校生活にいい影響を与える結果となるよう、さらに連携を深めていきたいと思っています。今後ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

R2 後期 児童調査～実現度～					R2 後期 保護者調査～実現度～学校教育					R2 後期 保護者調査～実現度～家庭教育				
児童質問紙	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	保護者質問紙 学校教育について	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	保護者質問紙 家庭教育について	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない
7 係や当番など、自分の役割を意識し、最後までやりとげている。	92.6%		7.4%		1 子どもたちが楽しんで学校に通えるように取組を進めている。	95.0%		3.8%		1 ルールやマナーを身に付けることができるように努力している。	86.5%		15.1%	
9 おうちの人と、よく話をしている。	91.3%		8.7%		3 ルールやマナーを身に身につくような言葉かけや取組を進めている。	91.3%		6.1%		2 子どもの思いや考えをしっかりと聞くようにしている。	82.4%		17.6%	
6 学校や家、地域で、進んであいさつをしている。	88.2%		11.8%		6 自分の役割を意識して、最後までやりとげる取組を進めている。	91.2%		6.5%		7 自ら進んで気もちの良い挨拶ができるように働きかけている。	81.8%		14.3%	
5 進んで学習に取り組んでいる。	87.7%		12.3%		5 意欲をもって学習できる授業づくりを進めている。	90.4%		8.0%		3 子どもの健康や体力づくりに気を配っている。	81.4%		17.9%	
1 毎日学校に来るのが楽しい。	87.0%		13.0%		4 食や運動など健康に関心をもつ取組を進めている。	89.4%		8.0%		5 PTA活動や学校行事に参加している。	67.4%		32.2%	
3 学校のルールやマナーを守っている。	83.3%		16.7%		2 自分の思いや考えをしっかりと伝えるように取組を進めている。	89.2%		10.0%		6 家庭での役割(お手伝いなど)を与え、最後までやりとげられるようにしている。	64.1%		36.3%	
2 自分の思いや考えをはっきり話している。	78.4%		21.6%		7 自ら進んで気もちの良い挨拶ができるような取組を進めている。	85.7%		13.6%		4 家庭で学習や読書の習慣づけをしている。	59.7%		39.5%	
4 規則正しい生活(早寝・早起・朝ごはん)をしている。	76.4%		23.6%											
6 進んで家でも読書をしている。	66.3%		33.7%											
10 休みの日に地域の活動や行事などに参加している。	56.9%		43.1%											



～保護者の方々のご意見より～

コロナウイルス感染拡大防止対策のため、2ヶ月の休校期間から始まった今年度、保護者の方の記述欄には、

◇コロナの影響で様々な制限がある中、楽しく学校に通えるよう取り組んでいただいています。

と、本校の取組をご理解いただける記述があり、教職員の励みとなっています。一方で、

◆行事が中止や縮小で子どもががっかりして帰ってくることが多くみられました。

◆子どもたちに我慢ばかりさせてかわいそうでした。来年は規模を縮小させたり工夫したりしながらでも色々な経験をさせてやっていただきたいと思います。

というご意見も頂き、今年度実施できた取組をもとに、さらに感染防止を進めながら、できなかった取組を実施するための工夫を考えていきたいと思っています。

また、日頃の子どもたちの姿から

◆七条壬生交差点の横断歩道の渡り方のマナーが悪い。

というご意見をいただきました。見守り活動の無い放課後の様子について、町別児童会でさっそく子どもたちに指導をしました。交通安全については、今後も繰り返し、子どもたちに伝えていきたいと思っています。

～第3回学校運営協議会役員会より～

学校運営協議会役員の皆様からも、今回のアンケート結果や学校の様子をもとにご意見をいただきました。安全面では、横断歩道の渡り方や自転車の乗り方に危険なことが多く、それは大人の姿を見ているからではないかというお話がありました。子どもと大人と一緒に学べる交通安全教室などを開催することができればよいと考えます。

また、来年度から本格実施されるGIGAスクール構想について、タブレットを使うことで、答えだけを見つける、考えなくなる子どもにならないように工夫しなければならない。というお話がありました。タブレットを使ったからこそ、主体的に学んだり、友だちとの協働が進んだと言えるよう、タブレットの有効活用を考え、子どもたちの活動の様子を発信していきたいと思っています。

**今年度も学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
今回のアンケート結果をもとに来年度の教育活動に生かしていきます。**